

# 令和6年能登半島地震被害による災害支援活動報告書（日報）

別添3

日本臨床衛生検査技師会  
災害対策本部宛て

被災地支援班	
報告者氏名：	飛田征男
報告日時：	令和 6年 3月 11日

令和6年能登半島地震災害における災害派遣チームの活動を下記のとおり報告します

活動日時	令和 6年 3月 10日
活動場所（避難所等）	輪島市（鴻巣小学校、輪島中学校、河原田公民館、椎茸農園避難所）
活動主目的	DVT検診（Dダイマー、下肢静脈超音波検査）、弾性ストッキング着用指導、血糖測定
帯同医療チーム名	福井県臨床検査技師会
【具体的な活動内容】	
<p>1. 参加者</p> <p>塚田孝法（公立丹南病院）、芝井美智代、原田真紀子、山口萌（以上、公立小浜病院） 山田恵美子、野村亜希、木戸口周平、飛田征男（以上、福井大学病院） 施設順</p> <p>2. 活動時系列</p> <p>第一日目 3月9日（土） レンタカー2台で移動（福井班、鯖江班）</p> <p>14：40 小浜班（芝井、原田、山口）出発 17：00 福井班（山田、野村、木戸口）と小浜班が福井県立大で合流後に出発し、18：00金沢市ホテル着 17：45 鯖江班（塚田、飛田）出発し19：00金沢市ホテル着 19：15 石臨技長原会長より、ホテルで10日活動の日臨技機材受取（富山、福井部隊分）</p> <p>第二日目 3月10日（日）</p> <p>6：05 ホテル出発（市内降雪あり）、のと里山道路を利用（横田IC-越の原IC間で低速運転必要） 8：10 穴水総合病院着、機材の引き渡し（日臨技機材①；富山部隊用）と受取（JMAT機材） 8：40 ミーティング後、穴水総合病院を輪島市に向けて出発 9：22 鴻巣小学校到着、検査を実施（10：00-11.15）。終了後、輪島中学校に出発（11：20） 11：35 輪島中学校アリーナ到着、検査を実施（11：55-13：05）。終了後、河原田公民館に出発（13：15） 13：30 河原田公民館着、検査を実施（13：40-14：45）。終了後、三井公民館に出発（14：55） 15：05 三井公民館着、先着していた富山部隊と合流。ほぼ終了間際ということで、JMAT西澤Drと波多野Drが話し合い、追加で近くの避難所に出発（15：20） 15：25 椎茸農園ビニールハウスの避難所着、2名の検査を実施（15：30-15：45）。終了後、穴水総合病院に出発（15：55） 16：20 穴水総合病院着、機材確認しJMAT機材は返却。日臨技機材を富山部隊から受取り、大場技師（石川）を同乗し金沢へ出発（16：55） 18：35 大場技師を金沢市内で下車、石臨技長原会長へホテル駐車場にて機材の引き渡し（19：00）。 19：45 福井班、小浜班解散（福井県立大学） 20：15 鯖江班解散（鯖江IC） 22：15 小浜班解散（小浜市内）</p> <p>3. 活動内容とその詳細</p> <p>1）下肢静脈超音波検査 計31件（新規血栓陽性者0名） 鴻巣小学校避難所（12件）、輪島中学校アリーナ（7件、うち5名は前回陽性者フォロー） 河原田公民館避難所（10件）、椎茸農園（2件、いずれも以前陽性者フォロー）</p>	

- 2) D-ダイマー測定 なし（ただし、問診時西澤Drに必要と判断されBUN、HbA1C等を1名に施行）
- 3) 血糖測定 なし
- 4) 弾性ストッキング着用指導 各避難所
- 5) DVTスクリーニング前問診、血圧測定、酸素飽和度測定
- 6) 活動まとめ

超音波検査前に問診と血圧測定、酸素飽和度を測定した。今回も下肢静脈エコーを行いつつ問診を同時に行った。

また、以前施行したDVT検診にて血栓の指摘を受けた方のフォローアップが7件あった（輪島中学5名、椎茸農園避難所2名）。

輪島中学校アリーナのフォローアップ5名中1件は新鮮血栓が出現し、西澤Drが対応（残り4名は変化なし）。椎茸農園避難所の2名は病院受診歴もあるとのことで、波多野Drが今後の対応を行っていくとのこと。

#### 4. 日臨技報告活動経費 合計 83,797円

##### 1) 小浜班経費（小浜～福井県立大学往復）

①高速道路代 3,540円、②ガソリン代 0円（221km；自家用車のため福臨技から支弁） 合計3,540円

##### 2) 福井班経費（福井県立大学～輪島往復）

①高速道路代金 2,840円 ②レンタカーガソリン代 3,835円 合計 6,675円

##### 3) 鯖江班経費（鯖江～輪島往復）

①高速道路代 3,840円 ②レンタカーガソリン代 3,742円、③レンタカー代（2台分）66,000円 合計 73,582円

5. 活動課題 今回、件数が少なかったことから、課題となるものは抽出できなかった。気付いた点や継続できたら良い点を挙げる。

##### 1) 検診案内

今回のように事前に避難所にポスター等で周知していただけるとスムーズに検査準備が行えて実施しやすい。避難者の食事時は避けた方が良くかもしれない。

##### 2) レンタカーについて

今回、レンタカーはワンボックスカーとミニバンの2台契約した。物品の搬入・移動はスペース的にも余裕がありが次回の3月24日の活動に関しては春休みということもあり、ワンボックスカーのレンタカーが予約できていない状況（キャンセル待ち、セダン2台は確保済み）。

##### 3) 日臨技残物品の確認について

今回、たまたま無かったのか、機材のチェックリストがあると良いと思います（使用したものはただし書きで簡便に報告し、発注する方も確認しやすくするように）。

##### 4) 検診時の問診と報告について

前回同様、問診はエコーを施行しながら行った。ただ、血栓陽性となった場合、情報を記載する資料が多く手順を少し簡略してもらえるとありがたい。

#### 6. まとめ

前回同様、DVT受検者が少ない為課題などの抽出は難しい。しかし、実施する側も本活動の経験者が増えてきて当初に比べれば柔軟でスピーディーな対応が出来てきていると思う。